



成瀬台中学校だより

令和8年度—第7号—

Tel (042) 728-6030 HP <http://www.machida-tyo.ed.jp/j-narusedai/>

令和8年9月1日発行

学校目標

[自主]個性をまかし 自ら学び続ける人間

[敬愛]自他を尊重し 思いやりのある人間

[克己]困難に打ち克つ 心身ともにたくましい人間

温かく穏やかな 雰囲気の学校づくりを

「いよいよ始まりました…」

校長 土屋 敏彦

45日間の長い夏休みをゆったり過ごし、心身の充電期間は作れましたでしょうか。「日頃忙しい保護者の方とゆったり過ごす」「デジタルではない実態のある趣味に時間をかける」「あえてスマホを離して一人きりの時間を作ってみる」などはできましたでしょうか。

自分にとって良い時間が取れた人は、仲間や担任の先生、学年の先生にぜひ話してみてください。他の人の過ごし方を聞き、「そんな過ごし方もあるのか〜」「それがリフレッシュになるのか〜」と知るとは、自分のリフレッシュ方法を見つける大変良い参考になります。今後のために、ぜひお互いに話をしてみてください。

そうは言っても、忙しくてリフレッシュどころではなかったという人もいることと思います。特に3年生の皆さんの中には、多くそうした人がいることでしょう。しかし、夏休み中に自分のために力を入れて取り組んだことは、必ず2学期以降に「確実な力」となって現れます。頑張った自分を褒めると同時に、その取組を継続させていきましょう。

さて、いよいよ2学期が始まりました。1学期同様、落ち着いた雰囲気の中で、成瀬台中で生活するすべての人が安心・安全に過ごせる「温かく穏やかな雰囲気の学校づくり」を皆さんで行っていきましょう。そのためには、「お互いの本質や心のあり方、考え方や体のあり方を認め、お互いを尊重し合いながら学校生活を送ってほしい」と思います。



この夏も世界では、民族や宗教、資源や領土、政治の違いなどにより戦争が起こっています。実際にはもっと多くの要因が複雑に絡み合っていることでしょう。しかし、争いのすべては、相手との違いを認めることができずにいる心の狭量さや、拒絶してしまう心の壁が原因で起こっているように思えます。これからの日本を築き、世界に羽ばたいていく皆さんには、様々な争いに巻き込まれないために、自分というしっかりした芯をもちつつも、相手に対して柔軟で寛大に対応できる心を培ってほしいと願っています。成瀬台中学校はその心を培うための練習の場だと思って、2学期も穏やかに学校生活を過ごしてください。どうぞよろしくお願いいたします。

「9月11日(金) 生徒会役員選挙」

世界では、国のリーダーによる発言が経済や平和、戦争において注目を集める今日この頃です。いよいよ成瀬台中学校でも、学校生活をより良く送るためのリーダーを決める生徒会役員選挙が行われます。

立候補者の話をよく聞くことで、自分が支持・応援でき、学校生活が過ごしやすくなると思える公約を掲げている立候補者に投票できるようにしてください。嬉しいことに、定員数を上回る人数の立候補がありました。「認める」をスローガンとした活発な生徒会活動は、本校の自慢できる活動の一つです。それを支えているのは皆さん一人ひとりです。自分たちの生徒会活動に自信と誇りをもってください。



9月3日（木）からは朝の選挙運動も始まります。よく聞き、よく見る生徒会役員選挙にしてほしいと思います。この9日間は立候補者にとっても、生徒一人ひとりにとっても、自治を考える大切な時間となってくれることを期待します。

生徒会役員立候補者の皆さんへ

立候補することは、大変勇気のいることであつたと思います。成瀬台中や仲間への思いをしっかりと伝えられる選挙活動にさせていただきたいと思います。勇気を持って発信し、語ってください。その発信に応え、応援してくれる仲間は必ずいます。頑張ってください。

「お墓参り」

8月上旬、お盆期間に入って高速道路が混み出す前、お休みをいただいて90歳と94歳の両親を連れ、山梨県へ墓参りに行ってきました。「墓参りに来られるのもこれで最後かもしれない」と両親が言い続けて数年。今年もどうにか無事に墓参りに行ってこられました。

数年前までは、墓参りに行くと7～8軒の叔父叔母の家へ挨拶回りをしたものですが、今年は3軒になってしまいました。お年寄りにはいつ何時、死が訪れてもおかしくないのだと実感する機会となりました。それでも、1年に1度、兄弟姉妹に会えて嬉しそうにする両親を見て、できることなら来年も連れてきたいと思いました。また、どの叔父や叔母も、孫やひ孫に会えることを楽しみにしている様子でした。



皆さんの中でおじいさん、おばあさんがご健在の方、時間が取れる時にはぜひ訪ねてみてください。おじいさん、おばあさんはいつでも心待ちにしていると思います。じじ・ばば孝行になると同時に、最高の親孝行にもなるはずです。

「オオクワガタ飼育」

小学生の頃、カブトムシやクワガタが大好きでした。夏休み中の採集（虫取り）の日は、目覚まし時計が鳴らなくても4時前に起床し、一人で真っ暗な雑木林に懐中電灯を持って入っていました。雑木林から出てくると、ちょうど夜が明ける時刻だったことをよく覚えています。

今から8年前、職員室でそんな話をしていると、ある先生からオオクワガタのつがい（オス4匹、メス5匹）に増えています。この夏も産卵木とクワガタマットを購入し、4組のつがいを作って飼育しています（玄関が狭くなるため、妻には少々煙たがられていますが……）。

様子を見てみると、1組の産卵木にはメスが産卵した痕跡が見えてきました。世代交代を繰り返しながら飼育を続けることができ、嬉しく思っています。9月下旬以降に産卵木を割り、何匹の幼虫が採取できるか今から楽しみです

